

今年もよろしくお願ひします！

2022年が幕を開けました。昨年は一昨年に続き、コロナで明け暮れた1年になりました。頭の悪い政府のせいで救われたはずの多くの命が失われ、学校現場も行事の中止、延期、縮小など、混乱させられました。

グッデイの活動も自粛せざるをえず、1月16日に予定していた「第10回うたごえ喫茶」は緊急事態宣言(1/13～2/7)が出される中、中止を決断。8月27日の宇治久世「夏の教研」も緊急事態宣言(8/20～9/30)で中止になり、サークル紹介ができませんでした。さらに、宣言が9月末まで長引いたため、10月3日に開催するべく準備を進めていた全国教職員うたごえ祭典が中止になってしまいました。

こうして2019年のクリスマスイブに開いた「第9回うたごえ喫茶」を最後に、ステージから丸2年間遠ざかることを余儀なくされました。しかし、コロナ禍でも可能な限り続けていこうという部員の皆さんの熱意に支えられ、宣言が解除された月の例会では練習を積み重ねました。また、6月23日には宇城久原水協、10月12日と11月16日には宇治久世教組の駅頭宣伝に参加するなど、実践も怠りませんでした。



そして巡ってきた今年のクリスマス。西小倉「第11回楽しい楽しいクリスマスコンサート」にお呼びがかかり、晴れて人前で演奏することができました。まるで神様がくれたクリスマスプレゼントのようでした。

第11回楽しい楽しいクリスマス



左から恩庄、津島、田中、畑、成清、池田、辻村、山田、古瀬

中西さんの司会で始まったコンサートのトップバッターを務めたグッデイ。1曲目はテーマソング「しあわせはこび」。この曲をグッデイが披露するのは今回が初めて。多少、音が外れたところがありましたが、掛け合い、ハーモニーともまずまずの出来映えでした。「おおっ、グッデイは自分たちで曲も作れるのか。しかもテーマソングらしい素敵な

曲だぞ。なかなかやるな！」と思ってくれたに違いありません(笑)。

「手をつなごう」と「Believe」では世界中の皆が手をつないで平和な世の中をつくろうという、クリスマスにピッタリのメッセージを皆さんと共有することができました。そして沖縄を思う「童神～天の子守唄～」と続き、ラストは十八番の「にじ」。早くコロナが終息してほしいという願いが「きっと明日はいい天気」という歌詞に重なり、会場が一体となって盛り上がりました。

西小倉コミセンでは2年ぶりの演奏でしたが、グッデイの健在ぶりを大いにアピールできたのではないのでしょうか。

年忘れ大うたう会

コンサートの後、教育会館に戻り、「年忘れ大うたう会」(反省会つき)を行いました。

会館の留守番をしてくれていた下村さんも加わり、向山親子、恩庄夫、そして反省会には中西さんも参加し、結局午前中の練習、クリスマスコンサートと合わせると実数で14人(のべ40人)が今日の取り組みに参加しました。

「うたう会」は当初の予定通り、「出たとこ勝負」でしたが、思う存分歌い、楽しいひとときとなりました。



反省会の様子

食べ物、飲み物の買い出し、差し入れ、飾り付け等、準備してくださった皆様、また部長のわがまな提案に賛同し、付き合ってくださった皆様、どうもありがとうございました。

この取り組みが今回限りのものになることを願ってやみません。(今年こそは「第10回うたごえ喫茶」が開催できますように。)

京教済

月々600円の掛金で結婚祝金に10,000円など、色々な給付
退職時には掛金が全額戻ります！